

2 0 2 6 年度（一社）鳥取青年会議所

委員長 所信書

委員長 河野 真言

私の理想の委員長像はメンバーに気遣いができ、メンバーみんなで一緒に事業を成し遂げることができる人間です。

そのために必要なこと、それは自分が周りの人間からリスペクトを得れる大人になることです。

私は年齢の割にまだまだ精神が未熟です。何かあれば他人のせいにすることがあります。人のせい、悪口、文句、どれをとってもいい事などないと頭で分かっているんですが、中々、直せれないのが現状です。JC でも社業でも、問題などが起こった時は、状況を理解・把握し、ネガティブにとらえずにポジティブに問題に向き合って解決できるようにして行くことがまず必要かなと思います。

また、メンバーに気遣い出来るようになるためには、人の話をしっかりと聞いて、理解し、記憶することが必須かなと思います。

この聞いて、理解して、記憶するこのプロセス意外と皆出来ていないと思っています。ちゃんと話は聞いているが理解力が追い付いていないとか。理解してても覚えてないとか。そもそも話をきけないとか。一連のプロセス意外と難しいと思います。私は、記憶の部分が一番欠如しています。なので、メモを取るだとか何かしら記録に残していくことをして行こうと思います。

そしてこれらを直せたとしてもまだ理想の委員長にはなれないと思います。

最後に私に足りなくて必要なものは、実行力です。メンバーに気遣いするにも、聞いて、理解し記憶しても、何かをしないと何にもならないし、ポジティブになっても何もしなければ変わらない。最後にこの実行力をつけることによって理想の委員長になれるように目指していきたいと思っています。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

37

38

39

40

41

42

43

44